春の全国交通安全運動

スローガン
やさしさが
走るこの街　この道路

春の全国交通安全運動が、４月６日㈮～15日㈰の10日間実施されます。

この運動は、市民一人一人が交通安全に関心を持ち、交通ルールの順守と正しい交通マナーを実践するほか、地域における道路環境の改善に向けた取り組みに参加するなど、皆さんの力で悲惨な交通事故を防止していくことを目的としています。

□運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

□運動の重点

自転車の安全利用の推進（特に自転車安全利用五則の周知徹底）

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

飲酒運転の根絶

二輪車の交通事故防止

❖自転車安全利用五則

①自転車は車道が原則、歩道は例外

②車道は左側の通行を（右側通行は禁止）

③歩道は歩行者者優先で、車道寄りを徐行で

④安全ルールを守る

飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

夜間はライトを点灯

交差点での信号順守と一時停止・安全確認

⑤子どもはヘルメットを着用

○傘を差したり、携帯電話で通話・メールをしたりしながらの運転も禁止

❖自転車が歩道を通行できるのは？

・歩道通行可の標識がある場合

・運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方

・車道や交通状況からみてやむを得ない場合

※通行できる場合でも、歩道は歩行者優先です。

❖反射材を着用しましょう

～交通事故に遭わないために～

反射材は、車のライトなどが当たると光を反射し、車の運転者は、反射材を着けている人を遠くから発見することができます。

靴のかかとや、自転車のスポークに取り付けるものなどいろいろな反射材があり、ホームセンター・日用雑貨店などで購入することができます。

◆道路管理課 保
（☎042－438－4055）

❖４月10日㈫は交通事故死ゼロを目指す日です

Web上で電話救急相談に準じたサービス

『東京版 救急受診ガイド』が始まります。

東京消防庁では、急な病気やけがで病院に行くかどうか迷った場合や救急車を呼ぶかどうか迷った場合に、東京消防庁救急相談センター（通称：#7119）にて電話での救急相談を行っていますが、４月１日㈰午前９時よりホームページ上で電話救急相談に準じた「東京版救急受診ガイド（web版）」を掲載します。これは、主な19の症状について、利用者の方自らが症状をチェックしていくことで、傷病の緊急度などに関するアドバイスが得られるサービスになります。

引き続き、東京消防庁救急相談センター（#7119または ☎042－521－2323）もご利用いただけますので、あわせてご利用ください。

❖「東京版救急受診ガイド」は各消防署で配布する冊子でもご覧いただけます。

❖対応する症状

緊急性の高い９症状と救急相談センターへの相談が多い10症状とを合わせた、計19症状です。

緊急性の高い９症状

❶背中が痛い　❷呼吸が苦しい　❸呼吸がゼーゼー
❹喘息（ぜんそく）発作　❺動悸　❻意識がない・意識がおかしい
❼けいれん　❽頭痛　❾胸が痛い

救急相談センターへの相談が多い10症状

❶（小児）発熱　❷（小児）吐き気・吐いた　❸（小児）頭のけが・首のけが
❹発熱　❺腹痛　❻吐き気・吐いた　❼めまい・ふらつき　❽しびれ
❾腰痛　❿（共通）何か固形物を飲み込んだ

※「（小児）」とあるものは小児（15歳以下）専用。「（共通）」は成人（16歳以上）・小児ともに利用可能。その他は成人専用です。

◆西東京消防署（☎042－421－0119）

バイクスクール

二輪車の交通事故防止を目的に実施します。

時 ４月８日㈰午前８時30分から受け付け
場 田無自動車教習所（芝久保町４－４－４）
申 当日、バイクで直接会場へ。
問 田無自動車教習所（☎042－461－7111）
◆道路管理課 保（☎042－438－4055）

狂犬病予防集合注射のお知らせ

生後91日以上の飼い犬は、年に１回、狂犬病予防注射を受けることが義務付けられています。

市では、屋外会場と動物病院会場による狂犬病予防集合注射を実施します。また、集合注射実施期間中は、屋外会場と動物病院会場で注射済票の交付も行います。

なお、屋外会場は雨天の場合は中止となります。

□持参するもの

¥ 3,550円（注射3,000円＋注射済票550円）

※お釣りのないようご協力をお願いします。

【飼い犬の登録を済ませている方】

すでに送付してある注射済票交付申請書（オレンジ色の用紙）をお持ちください。

※今年度から、問診票は申請書の裏面に印刷されています。

【生後91日以上の犬の飼い主の方】

未登録の方は、先に新規登録の申請を行ってください。屋外会場でも手続き可能です（新規登録手数料　3,000円）。

【動物病院会場以外の病院で狂犬病予防注射の接種を受けた方】

両庁舎市民課もしくは各出張所で、獣医からもらった狂犬病予防注射済証明書を持って、注射済票の交付を受けてください（注射済票交付手数料　550円）。

◆環境保全課（☎042－438－4042）

❖屋外会場

実施日	実施時間	会場
4月24日㈫	午前９時～10時	東伏見稲荷神社下駐車場（東伏見１－５）
	午前11時～正午	下保谷ポンプ場（下保谷２－６－15）
	午後２時～３時	文理台公園南側入口（東町１－４）
4月25日㈬	午前９時～10時	西原総合教育施設（西原町４－５－６）
	午前11時～午後０時30分	西東京いこいの森公園駐車場（緑町３－２）
	午後２時～３時	西東京市役所田無庁舎中庭（南町５－６－13）

※下保谷ポンプ場と西原総合教育施設の時間が昨年と入れ替わっていますのでご注意ください。
※雨天中止は、各会場とも開始時刻15分前に決定します。
※各会場へ車での来場はご遠慮ください。

❖動物病院会場

□期間　４月１日㈰～30日㈪

診療時間・臨時休診などは、あらかじめ電話でご確認ください。

病院名	住所	電話番号	休診
赤ひげ動物病院	下保谷３－７－１	☎042－424－4649	㈭、㈷
あづま動物病院	泉町３－３－３	☎042－438－2361	㈬、㈷、〔㈰の午後〕
エルザ動物小鳥の病院	南町６－７－１	☎042－464－8299	〔㈬・㈰・㈷の午後〕㈰・㈷の午前は要予約
ケン動物病院	保谷町３－９－５	☎042－463－0606	㈭、㈷
酒井獣医科病院	東町５－８－20	☎042－423－1455	㈰、㈷、〔㈯の午後〕
桜井動物病院	保谷町１－11－20	☎042－461－6858	㈰、㈷
中川動物病院	新町５－16－29	☎0422－53－5866	なし
野村動物病院	南町４－11－10	☎042－460－7667	㈰、㈷
ひばりヶ丘動物病院	谷戸町３－22－12	☎042－422－4111	㈰、㈷、〔㈯の午後〕
松川動物病院	芝久保町３－19－54	☎042－463－4537	㈰、㈷
本橋動物病院	栄町２－９－27	☎042－421－5449	㈰、㈷
もりと動物病院	北原町２－８－12	☎042－461－1610	㈫、〔㈰・㈷の午後〕
いそべ動物病院	東久留米市中央町４－８－10	☎042－471－0031	㈪、〔㈯・㈰・㈷の午後〕
かざま動物病院	東久留米市中央町２－６－50	☎042－453－8111	㈬
田中動物病院	東久留米市東本町４－９	☎042－474－0533	㈭、㈷、〔㈰の午後〕
くるめ動物病院	東久留米市八幡町３－３－12	☎042－477－3443	なし
まこと動物病院	小平市花小金井６－26－20	☎042－461－8876	㈭、〔㈰・㈷の午後〕
藤本愛玩動物病院	小平市花小金井南町３－24－８	☎042－464－0987	㈰、㈷

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成制度

市では、飼い主のいない猫の数を減らし、問題や被害を防ぐため、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成する制度を実施しています。

対 市内在住・在勤・在学の個人または団体で、市内に生息する飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を受けさせる方。

□助成限度額

不妊手術（メス）１万円まで、去勢手術（オス）5,000円まで

※対象は不妊・去勢手術のみです。そのほかの処置などは申請者負担となります。

□助成条件

①市が指定する動物病院で手術を受けさせ、不妊・去勢済みであることが外見から判断できる措置（耳カット）へ同意できること。

②猫の餌場の清掃、ふん尿処理など、地域住民への理解を得られるよう努めること。

申 ４月２日㈪から（先着順）

※予算に限りがありますので、事前に電話でご相談ください。

※詳細は、助成制度についての「ご利用の手引き」または市HPでご覧ください。

◆環境保全課（☎042－438－4042）

凡例 時日時 場場所 内内容 対対象 定定員 講講師 ¥料金 持持ち物 申申し込み 問問い合わせ HPホームページ FAXファックス ✉メール 田田無庁舎 保保谷庁舎